

令和元年（2019年）11月24日

各 位

東京都中央区八丁堀二丁目10番9号
ユニゾホールディングス株式会社
取締役社長 小崎 哲資
(コード番号：3258 東証第一部)
問合わせ先 専務取締役兼専務執行役員 山本 正登
(電話 03-3523-7534)

ブラックストーンによる当社買収提案に係る
協議継続のお知らせ

ブラックストーン・グループ（Blackstone Singapore Pte. Ltd. 又はその関連会社が運用する、若しくは助言するファンドをいいます。以下「ブラックストーン」といいます。）に属するBlackstone Real Estateにより運営及び助言されるファンドの関連会社であるUrchin Holdings I Pte. Limited（以下「買付意向表明者」といいます。）は、令和元年（2019年）11月22日、別紙のとおり、株式会社PR TIMESが運営するウェブサイトにおいて公表いたしましたので、お知らせいたします。

当社は、ブラックストーンとの間で、引き続き協議を継続してまいります。

なお、買付意向表明者により令和元年（2019年）11月22日に公表された別紙のプレスリリースにおいて、「当社及びその子会社が令和元年（2019年）9月中旬時点において所有する国内外の20個の不動産の売却活動」について記載されておりますが、令和元年（2019年）7月よりマーケット調査を開始し売買契約を調印した物件は、国内4物件及び海外3物件（令和元年（2019年）11月15日に開示した物件を含みます。）のみで、現時点で売却活動を行っている物件は、国内外共にありません。

以上

2019年11月22日

関係者各位

会社名	Urchin Holdings I Pte. Limited
代表者	Alan Miyasaki

**ブラックストーンによるユニゾホールディングス株式会社
(証券コード：3258)との更なる協議のための
検討期間延長に関するお知らせ**

(i)Blackstone Real Estateにより運営及び助言されるファンドの関連会社であるUrchin Holdings I Pte. Limited. (以下「ブラックストーン」といいます。)において、ユニゾホールディングス株式会社(証券コード：3258、株式会社東京証券取引所市場第一部上場。以下「対象者」といいます。)の発行済普通株式全てを、対象者が同意すること及びブラックストーンと対象者との間で一定の追加的な事項を定めた合意書が2019年10月23日までに締結されることを条件として取得する意向(以下「本公開買付け」といいます。)を公表する旨の、2019年10月15日付の「ブラックストーンによるユニゾホールディングス株式会社株式(証券コード：3258)に対する1株当たり5,000円での公開買付けを同社の同意を条件として開始する意向に関するお知らせ」と題するプレスリリース(以下「2019年10月15日付当社プレスリリース」といいます。)及び2019年10月15日付当社プレスリリースに定める期限を延長する旨のブラックストーンのその後のプレスリリース、並びに(ii)2019年11月7日付の「ブラックストーンがユニゾホールディングス株式会社(証券コード：3258)の本公開買付けに対する同意及び合意書締結の期限経過後の検討機関に入ったことに関するお知らせ」と題するプレスリリース、及び本公開買付けに係る期限の経過、ブラックストーンが対象者と更なる協議を行おうと取り組んでいること及び2019年11月22日までにその時点における対象者に関するあらゆる選択肢の検討状況に関するプレスリリースを行う意向を有していることを公表した2019年11月18日付の「ブラックストーンによるユニゾホールディングス株式会社(証券コード：3258)との更なる協議のための検討期間の延長に関するお知らせ」と題するプレスリリース(以下「2019年11月18日付当社プレスリリース」といいます。)に関し、次のとおりお知らせいたします。

2019年11月18日付当社プレスリリースにおいて公表しておりましたとおり、ブラックストーンは、対象者に対し、対象者からの提案に対する回答を書面で行っており、対象者からこれに対する書面による正式な回答が速やかになされることを期待しております。また、ブラックストーンは、2019年11月15日付の対象者のプレスリリースにより、対象者の連結子会社が当該プレスリリースに記載された固定資産(以下「米国不動産」といいます。)を譲渡することを決定したと理解しております。ブラックストーンは、対象者及びその子会社が、2019年9月中旬時点において所有する国内外の20個の不動産(米国不動産を含み、2019年3月31日時点において、その簿価の合計は約1,555億円、鑑定評価額の合計は約1,867億円)の売却活動を開始していた可能性が高いと理解しております。かかる不動産の売却については、対象者が公表しているキャピタルリサイクリングの前倒しの事業方針、並びに2019年10月10日付の対象者の「令和元年度(2019年度)連結業績予想の修正に関するお知らせ」と題するプレスリリース及び「当社株主からの質問書に対する当社見解の公表に関するお知らせ」と題するプレスリリースを含む、米国及び日本所在の不動産が売却の対象となっている旨の開示と一貫しているものと思われます。ブラックストーンは、対象者の米国不動産の譲渡に係る計画及びキャピタルリサイクリングの一環として一定の不動産を売却する計画を踏まえても尚、現時点においては、なお対象者との間で潜在的な取引を進めることに関心を有しております。ブラックストーンは、引き続き対象者株主に対する透明性を確保するべく、2019年11月27日までに、その時点における対象者に関するあらゆる選択肢の検討状況に関するプレスリリースを別途公表する予定であることを公表いたします。なお、本公開買付けが最終的に実施されるか否か、成立するか否かは、何ら確定していないことを付言させていただきます。

ブラックストーンの不動産グループについて

ブラックストーンは、不動産投資におけるグローバルリーダーです。ブラックストーンの不動産ビジネスは、1991年に設立され、1,540億ドルの投資家の資金を運用しております。ブラックストーンは、世界最大の不動産資産保有会社の一つであり、物流施設、賃貸住宅、単一世帯向け住居、ホテル及び商業用不動産を含む、世界全域及び全セクターにわたる不動産資産を所有し、運用しております。当社のオポチュニスティックな戦略を採るファンドは、不動産運用の改善が期待できる好立地の不動産を取得する機会を常に窺っております。ブラックストーンのCore+戦略は、品質の高い資産に焦点を当てた各地域のオープンエンド型ファンド、及びアメリカ国内における収益性の高い不動産への投資を行う非上場のREITであるBlackstone Real Estate Income Trust, Inc. (BREIT)を通じて、収益が十分に安定した不動産への投資を世界的に行っております。また、ブラックストーンは、Blackstone Mortgage Trust (NYSE証券コード: BXMT) を含む、世界有数の不動産金融事業を営んでおり、資本構成から様々なリスクにわたる包括的なファイナンス・ソリューションを提供しております。

問合せ先

ボックスグローバル・ジャパン株式会社
越田 稔
Minoru.Koshida@voxglobalasia.com
TEL: 080-2208-9698

杉山 理恵
Rie.Sugiyama@voxglobalasia.com
TEL: 080-2042-2852

Blackstone
Ellen Bogard
ellen.bogard@blackstone.com
TEL: +852-3651-7737

注：本プレスリリースは、いかなる意味においても、対象者の株券等の買付け等の申込み又は売付け等の申込みの勧誘（いずれも金融商品取引法に定義されます。）、又は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の売付け等の申込み、売買の勧誘又は買付け等の申込みの勧誘を構成せず、またその一部を形成するものとは解釈されてはならないものとします。本公開買付けの詳細については、対象者の次のウェブサイト（<https://www.unizo-hd.co.jp/news/>）において対象者のプレスリリースの添付資料として確認可能となっている、当社の「ブラックストーンによるユニゾホールディングス株式会社株式（証券コード：3258）に対する1株当たり5,000円での公開買付けを同社の同意を条件として開始する意向に関するお知らせ」と題するプレスリリースをご覧ください。

本プレスリリースは、ブラックストーンによる潜在的な公開買付けに関する全ての条件を記載するものではなく、その詳細は、ブラックストーンが公開買付けを開始する場合に金融商品取引法に基づき提出又は公表されることとなる公開買付開始公告、公開買付届出書及びこれらの添付書類に記載されます。本公開買付けは、本プレスリリース後のブラックストーン及び対象者の間の交渉及び協議により、事前の予告なく、修正、変更又は撤回される可能性があります。

以上